



# 啓明学院中学校

Hands and hearts are trained to serve  
both man below and God above.

## 2026年度 入学試験問題 A方式【国語】

[試験時間50分/100点満点]

- ※ 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- ※ 句読点はすべて字数にふくみます。

受験番号

【一】次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

啓明学院中学校では、二学期に校外学習を行います。二年生は奈良市内で歴史的、文化的な遺産を訪ね、日本の歴史をたどります。二年生の啓太と学は、集合場所である奈良駅へ電車で向かっています。

啓太は、兄が高校の古典の教科書を朗読している姿を思い出していました。

「昔、男、初冠して、平城の京、春日の里にしろよしして、狩りに往にけり。」

「お兄ちゃん、どういう意味なの？」

「うん、成人した貴族の男が、奈良に狩りに行く話なんだ。狩りに行くのは成人した証だったんだよ。」

窓からキンモクセイの香りが入り込んできました。

「啓太、今度は寝過ぎすなよ。去年の校外学習でオレたち、集合時間に遅れただろう。」

「何言ってるんだよ。おまえだって、景色に「i」中で、車内アナウンスを聞き逃したくせに。」

駅前で待つていた明美が二人をからかうように「A」しながら声をかけてきました。

「おはよう！今日は①ちゃんとできたわね。」

「いきなり何だよ。それ。」

学はほおをふくらまして言い返しました。

「どうせ遅れるわよ、あの二人、時間通りに来たためしがないんだからって、優子と話していたところなのよ。いつものことだから。」

「馬鹿にするなよ。オレたちは②成人式を終えたんだからな。」

啓太も胸を張っています。中学一年生の頃は、いたずらばかりしていた二人が、中学二年生の夏休みが明けた二学期になって、急に大人びた口調になってきたのを、明美は感じていました。中学二年生の夏休みに行われた青島キャンプの最終日に、学年主任の中島先生がしてくださった話はこうでした。

「今日で青島キャンプが終わります。班の仲間とテントを建て、助け合ってたき火を起こして、皆が食べる夕食を作り、力を合わせて船をこいだり、励まし合って海での遠泳に挑戦したりしてきました。次に来る後輩のために、草を刈ったり、キャンプ地を整備したりもしました。自分のためだけでなく、だれかのために汗を流し、困っている人を決して見捨てない、それが啓明生です。青島キャンプは、啓明生として一人前

になる儀式なのです。」

「三班、出発します。四人全員、元気です。」

「行つてらっしゃい。」

中島先生に見送られて、班長の明美を先頭に、出発しました。秋晴れのすがすがしい空気に、自然と気持ちがたかぶり、足取りも軽く、予定どおりに進みます。東大寺ではいま見てきたばかりの大仏の姿に、興奮冷めやらぬ様子の四人は、大仏の大きさや作り方を熱心に話していました。

しばらく歩いていけると、博物館の特別展覧会を案内する看板を啓太が見つめました。

「なあみんな、せっかくだから、ここも見ていこうぜ。」

啓太は目を輝かせています。

「急に何を言いだすのよ。行動計画書に博物館は入っていないし、そんなことしてたら、集合時間ギリギリになるって。」

と明美は、啓太を止めようとしますが、学も

「ちよつとぐらい、大丈夫だよ。今のところ予定は順調だし、オレたち、走って見てくるからさ。」

と班長の注意なんてどこ吹く「ii」といった様子です。

「調子のいいことばかり言わないでよ。あなたたちは、私たちに全部まかせつきりだったじゃない。この行動計画書も、優子が中心になつて、みんなの意見を聞いて、何度も書き直して完成させたのよ。お寺の拝観料も、昼ご飯を食べる場所も、全部でいねいに調べてくれたのよ。それなのに、急に……」

まくしたてる明美のそばで、優子は困ったような表情を見せていました。こんな「iii」鉄砲な男子に巻き込まれて、もし集合時間に遅れたら、先生におこられてしまう。でも、ここでもめて、啓太と学にあとから「B」言われるのもイヤだし。

優子は不満を感じつつも、何も言うことができませんでした。そんな様子を見て、明美は「C」啓太と学を見送りました。「しかたないわね。言つとくけど、二十分だけだからね。時間厳守よ。」

三十分後、博物館から出てきた啓太と学を、明美と優子が出口で待っていました。

「何よ、あなたたち！ 遅いじゃない！」

明美の③声がとんがっています。

「ごめん、ごめん。思ってたよりも時間がかかっちゃった。」

「もう、急がないと。こんな所で【D】してられないわ。このあとの計画を立て直しておいたわよ。やみ【iv】に進んでも、ろくなこ

とないんだから。」

明美にうながされて、啓太たちは次の場所へ向かって走り始めました。今ならじゅうぶん間に合う時間です。そのとき、悲鳴が聞こえました。

「お父さん！」

歩道に横たわっている男性に、若い女の人が呼びかけています。何人かの人が心配そうに見ていますが、突然のことで、みんなどうしているかわからないようです。

「人が倒れてる。」

おろおろしている若い女の人に代わって、啓太は男性の様子を確認します。

「おい、学、急げ。」

「啓太、オレ何をすれば……。」

学の④声はふるえています。

「これだけ人がいるんだし、私たちは先を急ぎましょうよ。このままじゃ、……。」

と優子が言うと、啓太は静かにこう言いました。

「⑤オレたちは啓明生だろ。」

その言葉にはっとしてお互いの顔を見つめ合い、四人の気持ちがつと一つになりました。⑥先ほどまでの心配は消えて、⑦今すべきことがはっきりしました。もう四人に迷いはありませんでした。青島キャンプの事前学習で習った救助法を思い出しながら、それぞれがテキパキと動き始めました。

「まず救急車を呼ぼう。」

「意識はないけど、呼吸も、脈もある。」

「こんな時には、あまり動かさない方がいいんだ。」

「体が冷えないように、毛布か何かはないかな。」

「あれ、手にすり傷があるよ。血が出ている。」

「さっきの博物館に行けば、救急箱があるかも。」

近所のみやげもの屋さんから、明美が毛布を持ってきました。学は博物館へ救急箱を取りに行きました。男性はとても苦しそうです。優子は、【E】しながら、救急車の到着を待っています。遠くから見ている大人たちも次第に集まってきました。

「医療関係の方はいらっしやいませんか。」

と啓太が呼びかけたとき、一人の青年が名乗り出ました。

「私は看護師です。毛布に救急箱……これって君たちがやったの？ 大人でもとっさにここまでできないよ。よくやったね。あとは私に

まかせてください。」

啓太と学は、救急車の誘導に取りかかりました。

「すみません。みなさん、道を空けてくれますか。」

明美と優子には、⑧二人の後ろ姿が大きく見えました。

四人が集合場所に着いたのは、時間を過ぎてからでした。中島先生が厳しい顔つきで待っています。

「あなたたち、こんな時間まで何してたの。学年の先生たちが今、あちこちさがし回っているのよ。」

「先生、僕が悪いんです。計画さえ守っていたら……。」

寄り道したことを啓太は、正直に話しました。すると明美が、

「それでも間に合っていたはずなんです。遅れてしまったのには、別の事情もあるんです。」

中島先生は、四人の話に耳をかたむけました。

「その時は助けることで頭がいっぱいで、そのあとは必死でここまで走ってきたので、先生に連絡すべきだということも思いつきませんでした。」

「心配をおかけしてすみません。」

その時、中島先生のスマートフォンが鳴りました。中島先生は、しばらく話したのち、啓太たちの方に向き直り、

「学校にお礼の電話があったそうです。倒れた男性も無事ですって。」

と、ほほえみました。

「感謝状が届いています。二年生、校外学習三班の皆さん、前へどうぞ。」

終業式で啓太、学、明美、優子は、チャペルの壇上にあがるよう、うながされました。

「感謝状。あなたがたは、奈良市内で人命救助をしました。ここにその勇気と行動をたたえます。」

四人を「v」雷の拍手が包みました。

問一 「i」「j」「v」に入る最も適切な漢字を次のア～キの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア 万    イ 的    ウ 夢    エ 千    オ 無    カ 風    キ 雲

問二 「A」「E」に入る最も適切な言葉を次のア～キの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア もたもた    イ ぶつぶつ    ウ にやにや    エ しぶしぶ    オ こつこつ    カ はらはら    キ もじもじ

問三 線部①「ちゃんとできた」とは、ここではどのようなことを意味しますか。解答らんに合うように、本文中から七字でぬき出して答えなさい。

問四 線部②「成人式」とは、ここではどのような意味で使われていますか。本文中から十四字でぬき出して答えなさい。

問五 線部③「声がとんがっています」について、この時の明美の気持ちとして最も適切なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア くやんでいる    イ おそれている    ウ かなしんでいる    エ いらだっている    オ しずんでいる

問六 線部④「声はふるえています」について、この時の学の気持ちとして最も適切なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア できそうにないことをやろうとしている啓太の強引さにあきれ果ている。  
イ 人が倒れている状況で、どうしていいかわからず、不安になっている。  
ウ 啓太がとっさの判断で指示を出していることに遠慮して一歩ゆずっている。  
エ 明美と優子の間で板ばさみになり、どっちについていいか困っている。  
オ 思ってもいないことが起こり、面倒くさくなって、やる気を失っている。

問七 ——— 線部⑤ 「オレたちは啓明生だろ。」について、「啓明生」とはどのような生徒であるべきだと啓太は考えていますか。解答らんに合うように本文中から十五字でぬき出して答えなさい。

問八 ——— 線部⑥ 「先ほどまでの心配」とはどのような心配ですか。解答らんに合うように答えなさい。

問九 ——— 線部⑦ 「今すべきこと」とは何ですか。本文中から四字でぬき出して答えなさい。

問十 ——— 線部⑧ 「二人の後ろ姿が大きく見えました」について、二人の姿が大きく見えた理由として最も適切なものを次のア～オの中から選び、記号で答えなさい。

ア ふだんから頼りないと思っていた二人が、無理に大人ぶっているのがおかしかったから。  
イ いつもは働かないくせに、むやみにはりきって指示を出してくることにいらだちをおぼえたから。  
ウ ふだんは頼りないと思っていた二人が、率先して取り組んでいるのが頼もしかったから。  
エ 専門的な知識をもっているわけではないのに、人を助けようとしていることに不安を感じたから。  
オ いつも頼りになる二人が、ここでも先頭に立って取り組んでいるのが心強かったから。

問十一 ——— 線部「班の仲間」について、あなたは学校生活の中で、班行動が必要だと思いますか。

ア 必要だと思う      イ 必要だと思わない      ウ どちらとも言えない

の中から一つを選び、記号を答えなさい。そして、そのように考えた理由を、五十字以内で答えなさい。

【二】 次の①～⑩の ——— 線部のカタカナをそれぞれ漢字に直しなさい。

- ① 運転をアヤマると事故になる。
- ② 人気ゼツチヨウの歌手。
- ③ シゲンごみを再利用する。
- ④ 海産物のホウコだ。
- ⑤ ジュクレンの技。
- ⑥ 冬のセイザを見あげる。
- ⑦ 親にオンを返す。
- ⑧ シンセイな場所。
- ⑨ ノウリに焼き付いた思い出。
- ⑩ 証言をウタガう。

